

会社情報

会社概要 (2015年6月27日現在)

商号	株式会社ガーラ (英文表記 GALA INCORPORATED)
設立	1993 年 9 月 3 日
資本金	2,900,519 千円 (2015 年 5 月 12 日現在)
本所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目11番11号 IVYイーストビル 3F
ホームページアドレス	http://www.gala.jp/
グループ従業員数	79 名 (2015 年 3 月 31 日現在)
主なグループ会社	株式会社ガーラジャパン Gala Lab Corp. (韓国) Gala Connect Inc. (韓国) Gala Innovative Inc. (米国)

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に向けて、企業情報や IR 情報を紹介しております。
よりタイムリーな情報をご覧いただき、当社へのご理解を深めていただくためにも、是非ご覧ください。
<http://www.gala.jp/>

株式情報

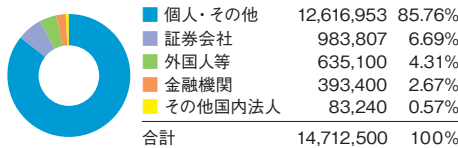
株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	39,292,000 株
発行済株式総数	14,712,500 株
株主数	13,224 名

大株主 (2015年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
菊川 暁	3,669,100	24.94
日本証券金融 (株)	393,400	2.67
(株) SBI 証券	348,400	2.37
BNYM SA/NV	249,700	1.70
個人株主	182,900	1.24
BNP PARIBAS NEW YORK BRANCH	176,000	1.20
野村證券 (株)	138,200	0.94
松井証券 (株)	97,700	0.66
マネックス証券 (株)	68,183	0.46
個人株主	65,000	0.44

所有者別 持株分布状況



取締役及び監査役

代表取締役グループ CEO	菊川 暁
取締役	ホウ・ヒョン (代表理事 CEO, Gala Connect Inc.)
取締役	キム・ヒヨンス (代表理事 CEO, Gala Lab Corp.)
取締役	金 志芸 (株式会社ガーラジャパン 代表取締役 CEO)
取締役	バジョ・ニコラ
社外取締役	田中 最代治 (株式会社田中経営研究所 代表取締役)
社外監査役 (常勤)	鍛冶 豊顕
社外監査役	江原 淳 (専修大学ネットワーク情報学部 教授)
社外監査役	清水 厚 (CaN Accounting Advisory株式会社 代表取締役)



株主メモ

証券コード	4777
上場市場	東京証券取引所「JASDAQ」(スタンダード)
事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 6 月下旬
基準日	定時株主総会については 3 月 31 日、 その他必要がある場合は取締役会の決議により、 あらかじめ公告して定めます。
公告をする方法	電子公告 (http://www.gala.jp/)
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 Tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)

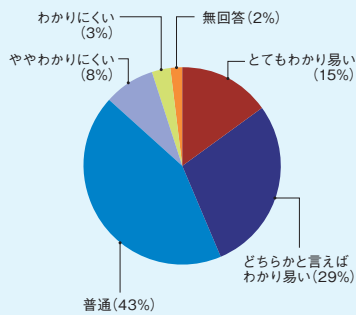
(住所変更のお申出先について)

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
また、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構 (ほふり) が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録しております。

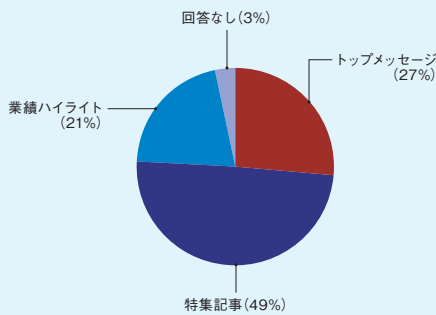
株主様アンケート結果

2014年3月期(第21期)株主通信に対するアンケートに、多くの株主様からご回答をいただきました。心より御礼申し上げます。

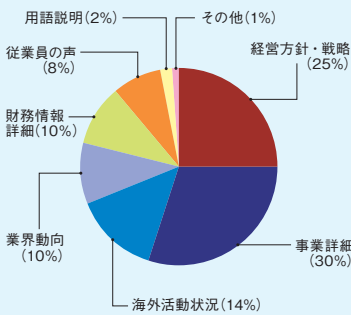
株主通信の内容



株主通信で興味を持った記事(複数回答可)



今後知りたい情報(複数回答可)



アンケートご協力のお願い 同封のアンケートはがきにご記入の上ご返信下さい。ご協力お願い申し上げます。

証券コード：4777

株式会社 ガーラ



株主通信 | 2015年3月期 第22期



株主・投資家の皆様へ

スマートフォンアプリ事業に注力し、
世界NO.1のグローバル・オンライン・コミュニティ・
カンパニーを目指してまいります。

代表取締役グループCEO 菊川 暁

Q 2015年3月期の概要について 教えてください

当社グループは、スマートフォンアプリ事業を主要事業として収益化することを最優先課題としており、自社グループの PC オンラインゲームのスマートフォン向けゲームアプリの開発に努め、当社グループが保有するグローバルなネットワークを活用し、サービス提供体制を拡大し、当該事業のグローバル展開を目指しております。

今期は、連結子会社である Gala Lab Corp. (韓国ソウル) が開発した PC オンラインゲーム「Flyff Online」(フリフオンライン) を題材にした 3 つのゲームアプリの開発に注力し、そのうちのパズルゲームアプリ「Flyff Puzmon」(フリフパズモン) とアクション RPG ゲームアプリ「Flyff All Stars」(フリフオールスターズ) の Android 英語版を 130 ヶ国及び iOS 英語版を 149 ヶ国に提供を開始いたしました。これらの開発費用の計上やプロモーションの費用計上、他の言語版の投入が次期からとなっていること等から、オンラインゲーム事業の減収がスマートフォンアプリ事業の増収を上回り業績は回復に至らず厳しい状況が継続いたしました。今後、「Flyff All Stars」を当社グループの主要ゲームアプリとして収入貢献できるよう、バージョンアップやプロモーションを進め、株主様の期待に添うべく、実績を上げるよう邁進してまいります。

Q 今後のスマートフォンアプリ事業の 戦略について

スマートフォンアプリ事業では、「Flyff All Stars」の世界主要言語のグローバル展開及び多言語化を進めてまいります。英語以外の主要言語におきましても、全世界 (地域) のユーザーに向けて配信することで、グローバルにサービス提供を展開することを目標としております。多言語化につきましては、PC オンラインゲーム「Flyff Online」の主要国 (地域) のダウンロード者数を参考に展開する言語の優先順位を決定してまいります。

尚且つ、PC オンラインゲーム事業で培ってきた海外のゲームパブリッシャー等のグローバルネットワーク、MMORPG (大規模多人数同時参加型 オンラインロールプレイングゲーム) での運営能力やゲーム開発力を活かし、グローバルにサービス提供ができるという当社グループの優位性を最大限に活かし、当該ゲームアプリの海外展開を成功させていきたいと思っております。

一方で、iOS 及び Android のスマートフォンアプリストアの課金率が世界で上位の日本におきましては、「Flyff All Stars」のダウンロード配信を開始し、収益獲得に繋げるよう努力していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご愛顧のほど、宜しくお願い申し上げます。

新体制のもと、スマートフォンアプリでグローバルな成長を目指します

グループ体制



組織再編について

当社グループは、2件の組織再編を行い、新たな体制の構築を進めております。2015年4月1日に連結子会社である㈱ガーラジャパンと㈱ガーラポケットを統合し、国内でのスマートフォンアプリ事業を集約し、経営施策実行の迅速化を図ります。

2015年4月23日にコミュニティサービス、ASP サービスの提供、運営サポートを提供している連結子会社の㈱ガーラウェブをトライベック・ストラテジー㈱に株式譲渡いたしました。これは、スマートフォンアプリ事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させることが最重要と判断したものです。

これらの組織再編後も引き続き、当社グループの成長、拡大を目指してまいります。



世界で登録者数
約5,000万人の大人気
PCオンラインゲーム

Gala Lab Corp. が開発した「Flyff Online」(フリフオンライン)は全世界で月額最高 40 億 KRW (約 4 億円※現在のレートで換算)を記録し、2014年8月31日現在で、世界で約 5,000 万人の登録者数がある PC オンラインゲームです。

「Flyff Online」ダウンロード者数



スマートフォンゲームアプリ「Flyff All Stars」のサービス提供開始

「Flyff All Stars」は、Gala Lab Corp. が開発した「Flyff Online」を題材にしたスマートフォン向けのアクションRPG (ロールプレイングゲーム) で、ゲームユーザーがゲーム内のヒーローを集めて、パワーを増加させ、装備を改良し、冒険をするゲームです。当社グループで 2014年12月17日にサービス提供を開始しております。

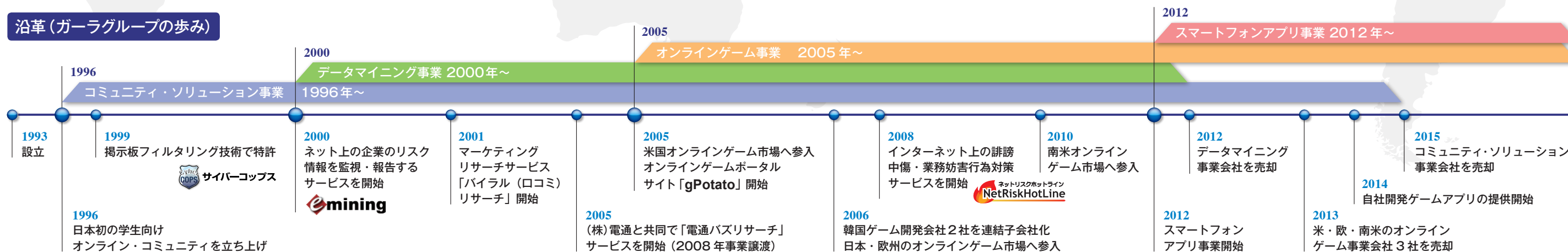
当社グループは、アプリの開発やライセンス取得に努め、保有するグローバルなネットワークを活用し、スマートフォンアプリ事業を主要事業として収益化することを目指します。



グローバル展開

Android 英語版	130ヶ国
iOS 英語版	149ヶ国

沿革 (ガーラグループの歩み)



業績ハイライト

当期の事業環境

スマートフォンアプリのアプリストア内の
利用者と収益増加

- ・iOS App Store 及び Android Google Play 共に
ダウンロード、課金共に増加
- ・Android、iOS 共に国別の売上は日本が1位

当社の取り組み

スマートフォンアプリ事業へ
事業主体の移行

- ・Oakキャピタル㈱への第三者割当増資に
よる資金調達
- ・韓国連結子会社でアプリ開発及び
バージョンアップ

業績

スマートフォンアプリ事業の
収益獲得に継続的に注力

- ・プロモーションの費用計上
- ・日本語を含め、多言語化等アプリ
開発に関連した費用の計上

売上高	営業損失	経常損失	当期純損失
684,875千円	288,596千円	259,541千円	271,820千円
前期比 △15.9%	前期比 57,374千円改善	前期比 18,073千円改善	前期比 8,543千円増加

スマートフォンアプリ事業の「Flyff All Stars」(フリフオールスターズ)、「Dungeons & Golf」(ダンジョンズアンドゴルフ)の売上高が想定通り伸びなかった結果、オンラインゲーム事業の減収がスマートフォンアプリ事業の増収を上回り売上高15.9%の減少。コスト削減を進めた効果により固定費が減少し、営業損失は288,596千円。